



下関市
SHIMONOSEKI CITY

下関市の推進構想

「ふるさと下関に誇りと愛情」をもつ子供の育成をめざして

「参加とともに参画」をキーワードに、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の取組を一体的に推進することにより、子供の豊かな学びやふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、地域とともにある学校づくりの実現をめざす。

1 地域連携教育の成果と課題

成果：地域に対する児童・生徒の肯定的な思い

「今住んでいる地域のことが好きですか？」に肯定的に回答した割合 90%

課題：地域との対話の機会

「地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか？」に肯定的に回答した割合 26%

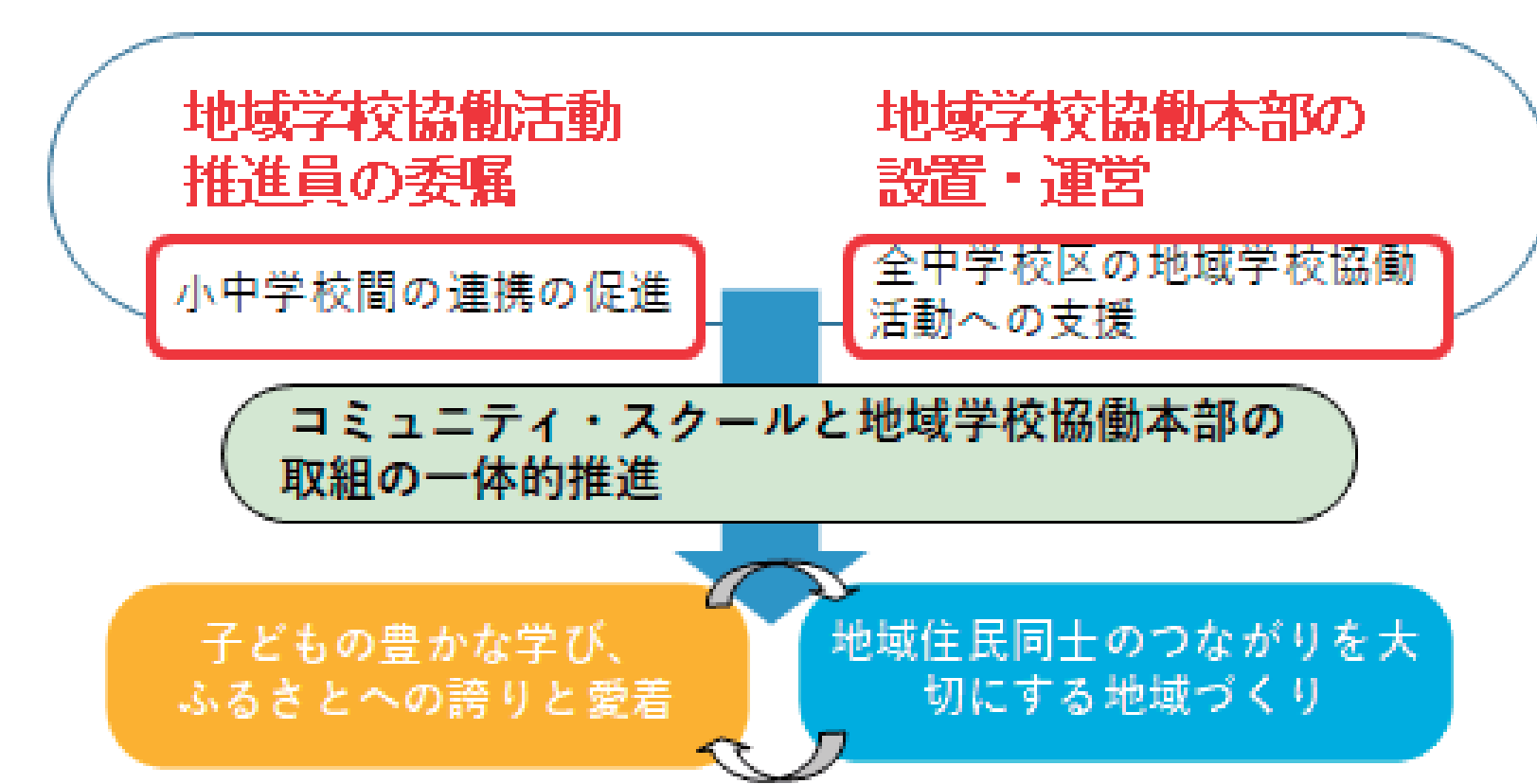
2 重点取組事項

- 児童・生徒アンケートを活用することを通して、地域連携教育の進捗を把握し、改善に生かす。
- 「学校・地域連携カリキュラム」を「やまぐちPRIDE」醸成の視点から見直し・改善することで、計画的・継続的な地域連携教育を進める。
- 学校運営協議会や研修会、「わくわく地域連携教育だより」等で好事例を紹介し、児童生徒が地域学校協働活動に参画するきっかけをつくる。
- 地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・社会教育委員の自主学習会を開催する。

3 重点取組事項の進捗を図る指標

- ① 児童・生徒アンケート（小5～中3）
 - ・地域への肯定的な思い
 - ・地域との対話の機会
- ② 担当者へのアンケート
 - ・地域学校協働活動推進状況
 - ・「学校・地域連携カリキュラム」の活用状況

地域学校協働活動活性化プロジェクト



活動取組

文関小学校

感謝の会・文関フェスティバル



「学校・地域連携カリキュラム」に位置づけ、計画的・継続的に地域との関係を深めている。

垢田中学校区 地域学校協働本部

児童・生徒を交えた熟議



「どのような垢田のまちにしたいか」をテーマに、学校と地域ができることを話し合った。

関西小学校



地域学校協働活動推進員が地域の事業所の中から体験先を選定し、連絡調整を行った。

川中・勝山中学校

下関市「夢・笑顔」 クリエイト事業



2校の生徒が協働し、地域が元気になる企画を考え、新下関駅で「K2祭」を開催した。